

(様式2)

令和 2 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590200067		
法人名	社会福祉法人長岡三古老人福祉会		
事業所名	グループホームけやきの杜		
所在地	新潟県長岡市上野町1059番地2		
自己評価作成日	令和2年12月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.niigata.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&jiyosyoCd=1590200067-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年2月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・当グループホームは本体施設(ケアハウスけやきの杜)の4階にあり、周囲には田畑が広がり、弥彦山や長岡火花などの景観を楽しむことができる。1階の敷地内には中庭やふれあい農園があり、4階のバルコニーでは花を育てたり、日光浴を楽しんで頂いたり、自然と触れ合う楽しみ、機会を大切にしている。

・併設するケアハウスやデイホームから入居される方もおり、行事やイベントなど日常生活を通じて馴染みの関係性が途切れないよう支援している。

・新型コロナウイルス感染予防対策により、今年度は中止となったが、町内の祭りや敬老会、賽の神といった地域の行事や催しに参加。防災訓練では町内の方とお互いに協力し合い、地域とのつながりを大切にしている。

・ご家族はご入居者を共に支える存在として考え、受診の協力をはじめ、行事などにも声を掛け参加して頂いている。年4回、ご利用者の様子を記載した個別状況報告書を広報誌と一緒に発送。何かあれば随時、ご家族と相談できる関係作りに努めている。

・生活の主体はご利用者であることを基本に意見交換会を2か月に1回実施。行きたい場所や食べたいもの、やりたいことを一緒に決めたりと、ご利用者の声を大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○一人ひとりの生活実現への取り組み
今年度は“どのように暮らしたいか”をテーマに支援していると報告があった。9人の利用者は同じ空間にいながらもそれぞれの想いを持ち、それぞれの習慣で暮らしている。今日のご飯にしようか、パンにしようか、〇〇が食べたい、今日はお風呂に入ろうか、買い物に行こうか、と一人ひとりが生活の主人公としてのあたりまえの生活を事業所では支援している。あたり前の暮らしを送ってもらうために、利用者一人ひとりの想いを知る機会(意見交換会、アセスメント、毎日の気づき)を持ち、その想いを尊重して支援ができていないかを振り返る機会(グループホーム会議、カンファレンス、ミーティング)を持ち、地域社会(運営推進会議、地域行事参加)に参加する生活に努め、家族との絆を大切にする(アンケート、面談、個別状況報告書)ことに努めている。つまりは利用者、家族、職員、地域が頻繁な話し合いや交流を定期的に、また随時実施しており、情報の共有・検討、協力関係の構築に努めて利用者が生活の主人公になる支援を実現している。“生活の主人公は一人ひとりの利用者”という基本に徹した取り組みが窺えた。

○利用者への思いと家族との関係性

日々の取り組みとして利用者に関わる時に一方的に物事を決めるのではなく、利用者が自主的に判断できたり行動ができるよう日頃から関わり方に注意をはらっている。家族とは些細なことでもこまめに連絡を取り合ったり、定期的に発行する広報誌を通して利用者の暮らしぶりや写真を添えて状況報告をしている。毎年、年度末にはご家族にアンケートを実施し家族の思いに触れるなど、積極的に家族や利用者から声をかけてもらえるきっかけづくりを大切に職員、利用者、家族のつながりを大切にしている事業所である。